

# 令和5年度(2023年度)北海道企業局工業用水道事業経営懇談会 議事概要

1 日時、場所 令和6年(2024年)3月26日(木) 10:00~11:10  
北海道庁別館庁舎 10階 企業局会議室

## 2 出席者(敬称略)

石水構成員、宇野構成員(座長)、河野構成員、谷口構成員、渡辺構成員  
(事務局)

企業局辻井局長、同松田次長

工業用水道課奥河課長、同施設整備担当川野課長、同配水施設建設室上田室長

工業用水道課三村課長補佐、同寺崎主幹、同千葉主幹

工業用水道課工水経営係戸田係長、同施設計画係早坂係長

## 3 開会《企業局から》

- ラピダス社への水の提供については、工場の稼働開始までの限られている期間で対応しなければならない状況にあり、道として苫小牧地区工業用水道を活用することとなった。  
先月、配水管布設工事の契約手続きを行ったところで、現在、設計に取りかかっている。
- 石狩湾新港地域工業用水道については、重工業の大規模工場を誘致すべく、平成11年に工業用水道事業を開始したが、既に80%の用地を販売しているものの、進出企業の大半では工業用水道の利用がなく、厳しい状況となっている。
- 石狩湾新港地域工業用水道事業の赤字は、道の一般会計から補填されているが、令和6年度に経営戦略を見直すこととしており、この補填を抑えるべく、本日いただくご提言も活かしながら、経営の改善を目指していく。

## 4 議事概要

(1) 「道営工業用水道事業の経営状況について」

- 事務局から資料説明(資料1:戸田係長)
- ◎ 構成員からの主な質問、意見

### 《谷口構成員》収支の状況について 1

- 令和5年度最終予算では収支がマイナス9千900万円であるのに対し、決算では収支0となる見込みという説明であったが、具体的な内容を伺う。

#### 《企業局》

- 予算では、地震などで漏水が発生した場合に備え、委託料や修繕費に復旧費用9千万円ほどを予備的に計上している。このまま漏水が発生しなければ、この費用は要しないことになるので、決算では収支が9千万円程度改善する見込み。

### 《谷口構成員》収支の状況について 2

- 令和6年度予算では5年度予算に比べ、支払利息が1千100万円減であるにも拘わらず、営業外費用が6千800万円増なのは何故か。支払利息以外の営業外費用にはどのようなものがあるのか。

#### 《企業局》

- 道は、配水管の工事をユーザーに代わって行う場合、費用をユーザーから負担金として徴収する。道は、負担金に応じた消費税を納める必要があるが、令和6年度には多額の負担金収入を見込んでおり、これに応じた支払い消費税を計上していることが営業外費用の増加要因となっている。

### 《谷口構成員》収支の状況について 3

- 令和6年度予算の収支差額が1億7千500万円のマイナスであるのに対し、純損益が1億9千600万円のマイナスとなっているが、その差はどのようなものか。

#### 《企業局》

- 官公庁の予算では収益、費用ともに消費税を含んでいるため。収益、費用の額からそれぞれ消費税相当額を差し引いた額が純損益の額となる。

### 《宇野座長》今後の見通しについて

- 今後の経済情勢を考えると、経営戦略で立てた収支見通しと実態とが、マイナスに分離していくことが懸念される。企業局の見通しと対策についてはどうか。

#### 《企業局》

- 来年度は経営戦略の改定に取り組むこととしている。今後を見通す中で、収支の悪化が懸念されるのであれば、料金の改定についても検討する必要があると考えている。

### 《石水構成員》資料について

- 今回から令和5年度最終予算と4年度決算との比較、すなわち今年度と前年度の実績同士の比較となっているが、実績と計画との比較も必要と考える。当年度最終予算について、当年度の当初予算との比較も行って頂きたい。
- 損益の状況のみ説明されているが、資産や借入など負債の状況も確認したいので、バランスシートも資料に含めて説明を頂きたい。

### (2) 工業用水需要開拓の推進について

- 事務局から資料説明（資料2：千葉主幹）
- ◎ 構成員からの意見、質問 特になし

### (3) 道営工業用水道施設の改修計画について

- 事務局から資料説明（資料3：早坂係長）
- ◎ 構成員からの意見、質問 特になし。

### (4) 苫小牧地区工業用水道配水施設建設事業について

- 事務局から資料説明（資料4：寺崎主幹）
- ◎ 構成員からの主な意見、質問

### 《石水構成員》費用の額、負担について

- 総事業費の額や財源確保の見通しを伺いたい。

### 《企業局》

- 総事業費は最大で198億円を見込んでおり、ラピダス社が全額を負担することになっている。受け入れの時期などの詳細は、ラピダス社との間で協議を行っている。

### 《谷口構成員》今後の需要について

- 今後、苫小牧地区では、多くの企業進出が見込まれている。ラピダス社との契約を含めると、苫小牧地区での契約率は90%近くまで上がっており、供給余力は2万5千 m<sup>3</sup>/日程度であるが、将来的な懸念はないのか。

#### 《企業局》

- 苫小牧地区工業用水道に関しては、複数の事業者から相談を受けているが、時期や水量などが具体的に決まっていない。

事業者に対しては、苫小牧地区工業用水道の現状について丁寧に説明を行っている。

#### 《谷口構成員》収支改善の見通しについて

- ラピダス社との契約において、供給単価が既存ユーザーと同じであれば、ラピダス社への供給により、収支が大きく改善されることが期待されるのか。

#### 《企業局》

- ラピダス社への配水管については、道が維持管理を行う必要がある。管の長さは22キロに及ぶものであり、将来の更新事業への備えもしなければならない。

#### 《渡辺構成員》配水管、ポンプ場について

- 上水道の管径は1,100ミリが多いが、この事業の管径はどれくらいか。

#### 《企業局》

- 700ミリのダクタイル鋳鉄管としている。
- 千歳市にあるラピダス社へ供給するには、既存の施設では水圧が不足するため、中継ポンプ場が不可欠であり、ポンプによる圧力と管径とのバランスを考え700ミリとした。

#### 《渡辺構成員》

- ポンプ場の位置は、供給元の近く、あるいは、中間地点が良いのではないかと考えるが、予定している位置がベストなのか。

#### 《企業局》

- 水圧を上げる効果は、いずれの場所でも同じであるが、メンテナンスの効率性を考え、第二施設の浄水場に近い位置で検討している。

### 5 閉会《企業局から》

- ラピダス社への供給開始は、収入増をもたらすものではあるが、配水管のメンテナンスに係る費用も多額になることが予想されている。

石狩湾新港地域工業用水道においても多くの課題が残されており、皆様から助言を頂きながら、工業用水道事業の経営改善に努めて参りたい。